

瑩山思想の本質

瑩山禅師の垂語参究

五十嵐卓三・著

瑩山禅師は道元に比し、いまだ不明な点が多い。その思想を日本仏教史上に克明に位置づける画期的論考。

瑩山思想の本質 目次

序	佐々木宏幹 (駒沢大学名誉教授)
序章	十三、四世紀の時代相
第一章	問題の所在
第二章	十三世紀における仏教宗団の展開
第三章	《加・能・越》のカミとホトケの世界
第四章	『傳光録』の精神 —— 歴史と信仰を導く
第五章	信仰共同体の確立 —— 瑩山清規の背景
第六章	信仰共同体の確立 —— 瑩山清規の精神
終章	祖師佛教確立者としての瑩山禅師

著者紹介

五十嵐卓三 (乗慶院住職)

駒沢大学大学院修了。京都大学特別研修員、曹洞宗教化研修所研修員などを歴任、イタリア禅協会主催のセミナーなどヨーロッパでの布教に従事。

A5判・上製・カバー装・350ページ

定価:本体3800円+税

ISBN978-4-336-05103-5

道元思想の本質

五十嵐卓三・著 三八〇〇円+税

道元禅師の出自とその時代背景が、思想形成の根幹にどのような関わっているかを綿密に検証し、そこから導かれる道元の思想の本質を明らかにする。

道元思想の本質 目次

第一章	村上源氏の出現―村上源氏六代の軌跡
第二章	文筆・詩歌の家系―村上源氏Ⅱ久我家
第三章	王朝的無常感の超克―無常感の源流
第四章	参師聞法への遍歴―王朝的《御流れ》の下で
第五章	荣西禅師の旧遊への遍歴―仏法僧の実

第六章	宋国の禅僧に学ぶ―自己の尊厳への自覚
第七章	禅仏法の宣揚―梅早春を開く時節
第八章	《當處永平》の仏道―仏仏祖祖の因縁を喜ぶ
第九章	《佛祖の大道》に生きる―報謝恩徳と光明照臨の仏法
第十章	道元禅師の世界―退歩返照Ⅱ進一步

(株)国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15

TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427

帰を求めて